

研究授業方式による衛生管理研究会報告書

<作成する際の留意点>

- ・ 様式1、2、3については、様式で設定されたフォントを使用する。
- ・ 「ですます調」(敬体)ではなく、「である調」(常体)で記載する。
- ・ 数字は、様式1のみ半角とし、その他は全角に統一する。
- ・ 器具等の名称は商品名ではなく一般的な名称で記載する。
- ・ 法規等は正式名で記載する。(例：管理基準→学校給食衛生管理基準)
- ・ 次のように表記を統一する。

ATP検査	→	ATP拭取り検査
段ボール	→	ダンボール
あえもの	→	和え物
2次汚染	→	二次汚染
てらい	→	手洗い

- ・ 作業動線図等で手書きの書類がある場合は、できるだけ文字や色が明瞭になるように調整し、カラー印刷したものを提出する。
- ・ 添付書類に、作業従事者や食物アレルギー対応対象者の名前やハンコが表示されている場合は伏せた状態にする等、冊子掲載をしても問題がないようにして提出する。

<提出する際の留意点>

- ・ 各都道府県の担当者は研究会実施状況を取りまとめ、各施設の報告書の中から、衛生管理について協議した内容がよく伝わるものや、改善につながったものなど、好事例を1つ選出※し、実施要項の(1)提出物を確認の上、紙ベースで1部、事務局へ令和9年2月10日(水)必着で提出する。

※ 事務局から担当の都道府県代表者へ送付された会員以外の報告分を含めて、1点を精選する。

- ・ 各都道府県で内容(文章、写真など)を確認し、提出すること。